



10月6日 東地申第14号

申し入れの根拠は TOKYO MAIL NEWS NO.065 をご覧ください⇒

## 「2022年3月ダイヤ改正等について」の検証に関する申し入れ 【新宿運輸区】提出！（その1）



### <申し入れ項目>

#### 【共通】

- 以下の乗務終了後の整理時間を拡大すること。
  - ① 運転士3分拡大
  - ② 車掌、中央線特急行路10分拡大・湘南新宿ライン行路2分拡大
- 交番作成や在宅休養時間の観点から引き続き遅日勤、早日勤を同数へ近づけるよう検討をすること。
- 育児、介護の観点から育介行路を育児等に合う時間帯に設定すること。
- 羽沢横浜国大駅乗継時間を1分30秒以上へ引き続き拡大を検討すること。
- 小田原駅場面休日 2821Y~2828Y の折り返し時分を1分拡大し9分とすること。
- 平日 2547Y~4536Y の混雑緩和のため、車両運用を10両から15両へ変更すること。

#### 【運転士】

- 田町車両センター、国府津車両センターでの出区点検時間に余裕がないため、出区点検時間を2022年3月ダイヤ改正前の労働時間とすること。
- 休日 1012 行路国府津車両センターの便乗 3920E 発時刻前に入換信号機が開通する事象が発生していることから労働時間の付与について明らかにすると共に、欠乗防止の観点から対策を講じ、必要な労働時間を付与すること。
- 熱海駅場面、以下の列車の停車時間が短く、「運転士による出区電車のドア開扉ならびに案内、行先設定」を行うことにより遅延が発生することから停車時間を5分以上とすること。なお5分以内の停車時間の列車は車掌が案内、行先設定するように変更すること。
  - ① 平日 1002 行路 回 4686M ~ 1586E
  - ② 平日 1005 行路 回 4872M ~ 1872E
  - ③ 平日 1008 行路 回 4890M ~ 1890E
  - ④ 休日 1008 行路 回 4640M ~ 1640E
- 国府津駅場面休日 1015 行路 4831Y~青出区 2842Y 乗継時間を拡大すること。
- 休日 1004 行路の食事を目的とした乗務中断を拡大すること。



10月6日 東地申第14号

申し入れの根拠はTOKYO MAIL NEWS NO.065をご覧ください⇒

「2022年3月ダイヤ改正等について」の検証に関する申し入れ

【新宿運輸区】提出！（その2）



6. 休日 1013 行路回 2823M~2824Y 小田原駅場面での折返し時間が7分45秒と短く、運転士がドア開扉、案内、行先設定を行うとエンド交換、機器整備等に時間ないため折返し時間を2分拡大すること。
7. 平日 1002 行路 1868E 平塚駅併合作業時間、中1番線 1563E の入線があるため付属編成の入線に時間を要し、遅延が発生することから付属編成の留置箇所を変更、または1868Eの停車時間を拡大すること。
8. 技量維持、教育の観点から東海道貨物線国府津8番線出区と国府津~小田原間の貨物線担当を設定すること。
9. 休日 1015 行路 来宮駅構内回 4626M~回 4674M、15両の折返し時間が10分しかないため、エンド交代のため配慮した折返し時間を拡大すること。
10. 教育や異常時の乗務員確保の観点から大宮口の乗務を1つの行路へまとめること。
11. 平日・休日 1014 行路 321M 出区点検から熱海駅までの長時間乗務解消へ向け品川駅または、国府津駅で乗務交代とすること。
12. 大船駅発場面 2566Y が先行列車閉そく遅延により大船駅の発車に遅延が生じるため発時刻を3分下げる等の遅延対策を講じること。

## 【車掌】

1. 5050M 松本駅~甲府駅間に改札行路を設定し2人乗務とすること。
2. 車掌指導の要員については、会社としての考え方について明らかにすると共に適正要員を確保すること。
3. 以下の行路の拘束時間短縮に向け具体的に検討し改善すること。
  - ① 平日・休日 43 行路
  - ② 平日 44 行路
  - ③ 全日 45 行路
  - ④ 全日 2 行路



10月6日 東地申第14号

申し入れの根拠は TOKYO MAIL NEWS NO.065 をご覧ください⇒

## 「2022年3月ダイヤ改正等について」の検証に関する申し入れ 【新宿運輸区】提出！（その3）



4. 以下の行路の新宿駅場面での食事を目的とした乗務中断を拡大すること。

- ① 平日 37 行路 2858Y~2867Y
- ② 全日 3 行路 3140M~回 5151M
- ③ 平日 4 4 行路 2554Y~2559Y

5. お客様のご利用実態に合わせて中央線特急 1 3M を 1 2 両編成とすること。

6. 平日 34 行路・36 行路は、休日での出勤時間と行路内容を、平日に合わせること。

### 【設備】

1. 国府津車両センター女性寢室、小田原乗泊の設備を拡大すること。

2. 羽沢横浜国大駅詰所が線見、見習い等で混雑する事から詰所、設備拡充をすると共に女性トイレを増設すること。

3. 以下の ITV について調査し改善を図ること。

#### ① 【山梨市駅上下線 9 両】

駅舎改良工事により陽射しの差し込みが変わり、特に朝の時間帯は太陽光により画面が暗く視認しづらいため改善をすること。

#### ② 【鎌倉駅下り 15 両】

平日の朝は通勤・通学、土日祝日は観光客で混雑し階段横はホーム幅も狭く ITV でも見にくい。階段横を映すカメラが階段付近から遠く、カメラの映りだしを変更すること。

#### ③ 【大船駅客下り 15 両】

カメラ毎にズーム比率が異なり広角で見えづらいため均一とすること。

#### ④ 【池袋駅山貨上下線】

2022年3月ダイヤ改正以降、立ち番や乗降終了合図が廃止されたが乗降客が常に多く駆け込み乗車も頻繁に行われドア挟まりも多く発生していることから、立ち番廃止を見直し乗降終了合図とすること。

#### ⑤ 【東戸塚横須賀 B 線 15 両】

高い位置にカメラがあり、エスカレーター・階段付近の視認性が悪いためカメラ取付位置を変更すること。